

【2022 年参議院選挙 立候補予定者アンケート】

徳永 エリ（立憲民主党） 選挙区（ 北海道選挙区 ）

1. 新型コロナウイルスへの対応について特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。

医療や福祉、子育てへの支援を行いながら、曖昧な感染拡大予防対策（ガイドライン）をしっかりとらせて安全性を担保し、経済との両立を図りたいと思います。引き続き、ワクチン接種に関しては、効果とリスクを随時検証し、正確な情報を発信していく必要があると考えます。

2. 「政治とカネ」の問題についてどのようにお考えですか。

政治とカネをめぐる問題は政治不信の大きな要因の1つと考えています。パーティー券の購入を含めた企業団体献金の禁止と個人献金促進を図る法律の制定をめざします。また、政治資金の透明性向上の観点から、国会議員関係政治団体の収支報告書を名寄せし、インターネットにより一括掲載することを義務付ける法律を制定したいと考えます。

3. 憲法9条「改正」について、どのようにお考えですか。

a. 賛成       b. 反対      c. その他

理由

過去の悲惨な戦争の反省に立ってつくられた憲法の最も重要な理念である平和主義を守り、真の平和を未来に引き継ぐ決意です。

4. 原発に頼らない脱炭素社会の実現に向け、どのようにお考えですか。

環境と安全性に配慮した持続可能なエネルギー社会の構築が急務です。すでに<sup>※</sup>RE100 など再エネ導入が世界的潮流で、北海道は再エネ売電で経済活性化を図る絶好の機会でもあります。原発の経済性も低下しています。環境への十分な配慮をし、電源の地域分散に留意しながら再エネ導入を推進するとともに、送電網や需給調整の基盤整備も進めるべきだと考えます。

※RE100：企業活動に必要なエネルギーの100%を再生可能エネルギーで調達することを目指す日本や世界の企業がRE100に加盟しています。

5. 放射性廃棄物「核のゴミ」の最終処分について、どのようにお考えですか。

「特定放射性廃棄物の持込みは受け入れ難い」とする道条例があり、最終処分場設置に反対の立場です。最終処分場設置と地域振興の交付金が天秤にかけられ、寿都町や神恵内村では地域住民が苦渋の判断を委ねられているのは問題です。地域分断を助長する国の手法や法制度を是正するとともに、全国レベルの社会合意形成が不可欠だと考えます。

6. 食の安心・安全を守るため、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。

コロナ禍や気候変動、ウクライナ侵攻のなかで、食料安全保障の確立が急務です。経済効率性のみを追求してきたこれまでの「官邸農政」を改め、農山漁村が持つ多面的機能の発揮・強化を図り農林漁家を支えて持続可能な農林水産業を確立するため、新たな環境支

私と戸別所得補償制度をつくりたいと思います。遺伝子組換えやゲノム編集技術応用作物（食品）の適切な規制・管理、情報開示と有機農業の振興に取り組みます。

**7. ジェンダー平等に向け、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。**

立憲民主党のジェンダー平等推進本部長として、超党派の議員立法「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」（5月19日成立、2024年4月施行）に尽力してきました。今後もさらに女性をはじめすべての人が自分らしく生きること保障するために、社会的につくられた困難さ（障壁）を取り除くことが求められます。意思決定の場に女性が参加し、議決権を持つことが重要であるとともに、婚姻制度（選択的夫婦別姓など）、働き方、賃金格差、社会保障や税の仕組みなどを平等にしていくことなどに取り組みます。

**8. 子どもの権利を守るため、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。**

残念ながら立憲民主党が国会提出した、子ども・子育て政策を一元的に立案、遂行する“子ども省”設置と子ども権利・利益擁護を第三者機関（“こどもコミッショナー”、内閣府の外局）化するなどとした「子ども総合基本法」は与党に否決されました。大人の都合を優先した「少子化対策」や過度に家庭に責任を負わせるのではなく、子ども自身の意向を大切に社会全体で育ちを支えていくことをめざし、今後も子どもの権利条約の4原則を具現化に向けて、粘り強くチルドレン・ファーストの政策実現をめざします。生まれ育った環境や経済的理由で子どもが希望をなくさないよう、教育の無償化、労働・社会教育、ヤングケアラー支援などに取り組むとともに、民法 822 条の懲戒権の見直しも進めます。

【2022年参議院選挙 立候補予定者アンケート】

石川 ともひろ（立憲民主党） 選挙区（北海道選挙区）

1. 新型コロナウイルスへの対応について特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。  
治療薬の開発・普及促進、保健所の体制強化、感染予防の継続で多くの人が安心して社会経済活動ができる環境をつくること。
2. 「政治とカネ」の問題についてどのようにお考えですか。  
政治家としてコンプライアンスは基本。国民に説明できるお金の受け方、使い方をしなければならない。
3. 憲法9条「改正」について、どのようにお考えですか。  
a. 賛成     b. 反対    c. その他  
理由 9条があるからこそ、今の日本の平和が保たれていると考えているため。
4. 原発に頼らない脱炭素社会の実現に向け、どのようにお考えですか。  
再生可能エネルギーの潜在能力を最大限生かす。そのための法制度、送電網の整備を加速させる。地熱発電は高いポテンシャルを持ち、原発に代わる電力資源として有望。
5. 放射性廃棄物「核のゴミ」の最終処分について、どのようにお考えですか。  
最終処分技術の安全性が確保されていない現状で最終処分場を建設し高レベル放射性廃棄物を超長期間保管することは極めて危険である。
6. 食の安心・安全を守るため、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。  
第一には国内生産を維持し可能な限り拡大すること。そのために、農業・漁業経営が持続可能な政策を提案する。
7. ジェンダー平等に向け、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。  
法律や条令を決定する国会議員、地方議員のジェンダー平等の実現のため、当面クォーター制度等により女性の政治参画を促進する。
8. 子どもの権利を守るため、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。  
子どもの貧困対策とヤングケアラーに寄り添った対策。就学を希望するすべての人の教育機会の確保と質の高い教育環境の整備。

【2022年参議院選挙 立候補予定者アンケート】

辻元 清美（立憲民主党） 選挙区（ 全国比例区 ）

1. 新型コロナウイルスへの対応について特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。  
保健所機能や人員配置の増強、地方の公衆衛生研究所の法定化、実効性ある検査体制の整備、自粛と補償をセットとして考え、誰も置き去りにしない補償策の検討。
2. 「政治とカネ」の問題についてどのようにお考えですか。  
日本は選挙に立候補する場合、高額の供託金制度により参入障壁となっている。被選挙権を行使しにくい高額供託金の見直しを図る。政治とカネについて、透明化を一層進める。
3. 憲法9条「改正」について、どのようにお考えですか。  
a. 賛成       b. 反対      c. その他  
理由  
戦争放棄の憲法9条は日本の宝であり、戦争や紛争の多い今の世界にとっても宝。日本はこの平和憲法のもと、世界の赤十字の立場を担っていく必要がある。
4. 原発に頼らない脱炭素社会の実現に向け、どのようにお考えですか。  
再生可能エネルギーを基本とする分散型エネルギー社会を構築し、あらゆる政策資源を投入して、原子力エネルギーに依存しない原発ゼロ社会を一日も早く実現する。
5. 放射性廃棄物「核のゴミ」の最終処分について、どのようにお考えですか。  
核燃料サイクル事業の中止に向け、関係自治体との協議による新たな枠組みを構築し、使用済み核燃料は直接処分を行う。最終処分は、国の責任を明確にし、安全を最優先に科学的な知見に基づいて進める。
6. 食の安心・安全を守るため、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。  
ゲノム編集食品の食品表示義務化、学校給食における地元産有機野菜使用を進める立法。産地偽装を防ぐトレーサビリティ強化。添加物の食品表示。
7. ジェンダー平等に向け、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。  
女性議員を増やすためのクォーター制度の導入。ジェンダー平等政策の主流化。選択的夫婦別姓と同性婚。女性の視点での交通政策構築。防災と女性の取り組み拡大。
8. 子どもの権利を守るため、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。  
ヤングケアラー支援、教育無償化、学校給食無償化、行政から独立し、権利が守られているかを調査・勧告する権限をもつ機関である「子どもコミッショナー」の設置。

【2022 年参議院選挙 立候補予定者アンケート】

**福島 みずほ（社会民主党）** 選挙区（ 全国比例区 ）

1. 新型コロナウイルスへの対応について特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。

医療崩壊を防ぐために感染予防を徹底します。特に、医療、介護などの施設における PCR 検査、予防ワクチン接種を行いクラスターを防ぎます。時短、失業等により、経済的な苦境にある人への支援を、正規・非正規を問わず拡充します。飲食店等への休業補償を拡充します。

2. 「政治とカネ」の問題についてどのようにお考えですか。

政治とカネをめぐる不祥事は後を絶たず、政治不信の原因となっています。政党に対する企業・団体献金を禁止します。また、政治資金の透明度を高め有権者の判断に資するため、政治資金に関する情報公開を徹底します。あっせん利得処罰法の強化改正に取り組みます。

3. 憲法 9 条「改正」について、どのようにお考えですか。

a. 賛成      **b. 反対**      c. その他

理由

憲法第 9 条の改悪を絶対に許しません。第二次世界大戦の悲惨な体験、軍国主義と戦争への深い反省から日本が得た平和主義を守ります。ロシアのウクライナ攻撃に便乗した核共有論、「専守防衛」を侵す「敵基地攻撃能力」の保有論を国会等で徹底的に追究し許しません。

4. 原発に頼らない脱炭素社会の実現に向け、どのようにお考えですか。

脱炭素社会の実現と温暖化対策は、再生可能エネルギーの促進がかぎとなります。また、大量生産・大量消費・大量廃棄の経済を転換しなければなりません。脱炭素社会や生態系を守る投資を通じて立て直そうという「グリーンリカバリー（緑の復興）」の考え方を取り入れます。

5. 放射性廃棄物「核のゴミ」の最終処分について、どのようにお考えですか。

原発の「安全神話」は完全に崩壊しています。地震列島、日本に 10 万年後まで管理を必要とする放射性廃棄物の捨て場はありません。直ちに脱原発を決断し、社民党が他の野党と共同提案している「原発ゼロ基本法案」を成立させて具体的なロードマップを作成していきます。

6. 食の安心・安全を守るため、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。

戸別所得保障制度を復活・拡充して規模の大小を問わず農業経営をしっかりと下支えして早期の「食糧自給率 50%以上」を目指します。種子法を復活させ、海外の種苗大手による種の支配を食い止めます。農林水産業の再生と担い手の育成、農山漁村の発展に全力をあげます。

7. ジェンダー平等に向け、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。

男女の賃金格差をなくします。また非正規労働者の7割以上が女性です。非正規労働者の均等待遇を実現します。国・自治体の女性議員を増やすこと、選択的夫婦別姓の実現、社会保障制度の個人単位化、性暴力の根絶、LGBT 差別解消法の成立などに取り組みます。

8. 子どもの権利を守るため、特に力を入れて取り組みたいことは、どのようなことですか。

「子どもの権利基本法」の制定に取り組みます。不登校、児童虐待、子どもの自殺は、2020年度の統計で過去最多となりました。また、日本の子どもの7人に1人は「貧困」状態にあります。これらの問題を解決するために子どもを軸に据えた抜本的な政策転換を図ります。